

近畿

京都府

# 株マイファーム

## 「自産自消」循環の輪で耕作放棄地を再利用し、日本農業を活性化!

自分で作って自分で食べる(消費する)「自産自消」での農業を提唱し、耕作放棄地の再生を推進してきた株マイファーム。全国規模

「収量増加や病害虫対策に主眼を置き、生産性向上を目指して行われる品種改良の研究は、私が少年時代に

にまで広がったその取り組みの原点について、同社の西辻一真社長はみずからの少年時代を振り返る。「家庭菜園で家族とともに野菜を育てる体験を通して、自分で工夫して作ったものを食べる楽しさを知った」のだと



畑に行きたくなくなる八百屋、とのキャッチフレーズが付いた厳選八百屋「マイファーム」の野菜たち

味わった野菜づくりの楽しさとは違う世界だった」ため、研究者の道を諦めたそうだが、「そこで思いついたのが、使われていない畑を週末限定の体験農園として有効活用できるのではないかと、う妄想だった」と西辻

らうと京都大学農学部に入社したが、

社長。「最初は当然、何の実績もなかったら、提案を受け入れてくれる土地の所有者を探すのがたいへんだったが、1軒目の体験農園がうまくいきはじめた頃には農家の方たちの側から問い合わせが入るようになっていくことができた」とい

### 太鼓判押します!!



兵庫県養父市長 廣瀬 栄さん

養父市は国家戦略特区に指定されましたが、株マイファームさんはこれに素早く反応し株マイハニーを設立、そのアイデアと行動力で耕作放棄地の解消や農業生産法人の6次産業化に向け取り組んでおられます。今後の活躍を大いに期待しています!

このように同社の「自産自消」の取

社長の自社採点	
企画開発力	☆☆☆☆
営業力	☆☆
成長力	☆☆☆☆
収益力	☆☆☆
地域貢献力	☆☆☆☆☆
人材力	☆☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆
計画性	☆☆☆
リスクア	☆☆☆



「農業界のど真ん中でキラリと輝く農業ベンチャーであり続けたい」と西辻社長

■会社概要  
 本社・京都府京都市下京区朱雀正会町1-1 京果会館304号室/☎075-746-6213/設立2007年/従業員16名/資本金1億1500万円/ <http://myfarm.co.jp/>

を設立した時点では京都の久御山町にたった1カ所だった農園は現在、関東・東海・関西地方に合計70カ所にまで増えている。行政と連携しての事業にも乗り出しており、14年夏には兵庫県養父市内の耕作放棄地をレンゲ畑にして養蜂業に取り組む農業生産法人を設立した。「この春にも養蜂業を開始し、市内の古民家を改装して加工場を設け、6次産業化に向けた商品製造やカフェ開店などを目指す」といのが西辻社長の計画である。

り組みはここ数年来、耕作放棄地の再利用だけでなく、地域に根差したさまざまな事業へと展開している。なかでも同社が力を入れているのが「アグリノベーション大学校」による農業者教育だ。西辻社長によれば、「体験農園を長年利用してきた方に次のステージを用意したい、との思いで10年にスタートした。趣味の野菜づくりをいかに「業」として継続していくかを専門的に教え、新規就農への第一歩をサポートすることが当校の目的」とのこと。総卒業生数は400名を超え、現在の受講生数は86名、すでに40人以上の卒業生が就農しているそうだ。さらに14年には厳選八百屋「マイファーム」も東京・名古屋・京都にオープン、「卒業生たちが生産した農産物の消費者との接点として機能するとともに、多くの方たちに当社の取り組みを知ってもらう場にもなっている」とい。

農園・学校・八百屋による「自産自消」循環の輪を構築した同社は、これからさらにそのネットワークを拡大し、とくに農業教育の取り組みを強化していく。「質が高くきめ細やかな日本農業のポテンシャルを発揮できる多くの人材を育てていきたい」と西辻社長は意気込んでい



QRコード対応のケータイで読み取れます